

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-94136

(43)公開日 平成9年(1997)4月8日

(51)Int.Cl.^o

識別記号

庁内整理番号

P I

技術表示箇所

A 47D 13/02

A 47D 13/02

審査請求 未請求 請求項の数3 FD (全6頁)

(21)出願番号 特願平7-276396

(71)出願人 390006231

アップリカ▲高▼西株式会社

大阪府大阪市中央区島之内1丁目13-13

(22)出願日 平成7年(1995)9月29日

(72)発明者 片岡 幸代

大阪市中央区島之内1丁目13番13号 アップリカ高西株式会社内

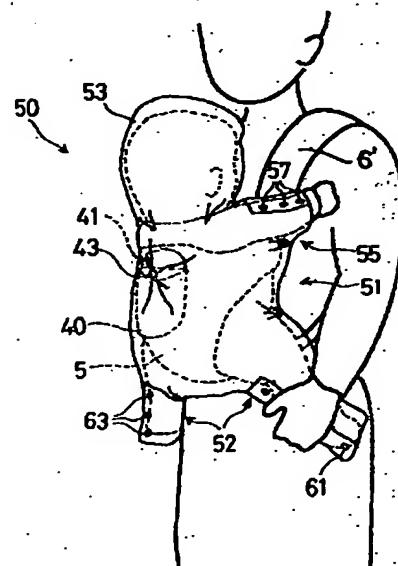
(74)代理人 弁理士 高崎 健一

(54)【発明の名称】 乳幼児キャリア

(57)【要約】

【課題】 雨の日に外出しても乳幼児の手足が雨に濡れないようとする。

【解決手段】 前当て部3、股当て部4および背当て部5を一体に形成してなるキャリア本体2を有する乳幼児キャリア1において、背当て部5にポケット40を設け、乳幼児を背面側から覆うカッパ50をポケット40内に収納するとともに、カッパ50の上衣51の背面部分を係止ホック43によりポケット40内に係止する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 前当部、股当部および背当部を一体に形成してなるキャリア本体を有し、乳幼児を保持しつつ運搬するための乳幼児キャリアにおいて、前記背当部には小物入れ用のポケットが設けられており、前記ポケット内には、乳幼児を背面側から覆うカッパが収納されるとともに、該カッパの一部が前記ポケット内に係脱自在に係止されている、ことを特徴とする乳幼児キャリア。

【請求項2】 前当部、股当部および背当部を一体に形成してなるキャリア本体を有し、乳幼児を保持しつつ運搬するための乳幼児キャリアにおいて、前記背当部には、乳幼児の頭部を支持するためのヘッドサポートが着脱自在に設けられるとともに、前記ヘッドサポートには小物入れ用のポケットが設けられ、

前記ポケット内には、乳幼児を背面側から覆うカッパが収納されており、該カッパの一部が前記ポケット内に係脱自在に係止されている、ことを特徴とする乳幼児キャリア。

【請求項3】 前記カッパにおいて乳幼児の腕および脚を覆う部分は、乳幼児の腕および脚が出し入れできるよう開閉可能になっており、その開閉個所には、当該部分を乳幼児の腕および脚に止めるための係脱自在な係止部材が設けられている、ことを特徴とする請求項1または2記載の乳幼児キャリア。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、前当部、股当部および背当部を一体に形成してなるキャリア本体を有し、乳幼児を保持しつつ運搬するための乳幼児キャリアすなわち子守帯に関する。

【0002】

【従来の技術およびその課題】乳幼児キャリアにおいて、乳幼児の出し入れを容易に行え、しかも乳幼児を安定して確実に支持できるようにするために、本件出願人により、前当部、股当部および背当部を一体に形成してなるキャリア本体を有する乳幼児キャリアが出願されている(特願平6-259302号参照)。

【0003】このような乳幼児キャリアでは、他の乳幼児キャリアと同様、収容された乳幼児の手足は乳幼児キャリアからむき出しの状態にある。このため、雨の日に外出しなければならない場合には、乳幼児の手足が雨で濡れるおそれがある。

【0004】本発明は、このような従来の実情に鑑みてなされたもので、雨の日に外出しても乳幼児の手足が雨に濡れることのない乳幼児キャリアを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明に係る乳幼児キャリアは、前当部、股当部および背当部を一体に形成してなるキャリア本体を有し、乳幼児を保持しつつ運搬するための乳幼児キャリアにおいて、前記背当部には小物入れ用のポケットが設けられており、前記ポケット内には、乳幼児を背面側から覆うカッパが収納されるとともに、該カッパの一部が前記ポケット内に係脱自在に係止されていることを特徴としている。

【0006】請求項2の発明に係る乳幼児キャリアは、前当部、股当部および背当部を一体に形成してなるキャリア本体を有し、乳幼児を保持しつつ運搬するための乳幼児キャリアにおいて、前記背当部には、乳幼児の頭部を支持するためのヘッドサポートが着脱自在に設けられるとともに、前記ヘッドサポートには小物入れ用のポケットが設けられ、前記ポケット内には、乳幼児を背面側から覆うカッパが収納されており、該カッパの一部が前記ポケット内に係脱自在に係止されていることを特徴としている。

【0007】請求項3の発明に係る乳幼児キャリアは、請求項1または請求項2において、乳幼児の腕および脚を覆う前記カッパの部分は、乳幼児の腕および脚が出し入れできるよう開閉可能になっており、その開閉個所には、当該部分を乳幼児の腕および脚に止めるための係脱自在な係止部材が設けられていることを特徴としている。

【0008】本発明においては、背当部またはヘッドサポートに設けられたポケット内に、乳幼児を背面側から覆うためのカッパが収納されているので、雨の日に外出しなければならない場合には、このカッパをポケットから取り出して乳幼児に被せることにより、乳幼児の手足が雨に濡れるのを防止できる。

【0009】しかも、この場合には、カッパの一部がポケット内に係止されているので、カッパをポケットから取り出して乳幼児に着せている最中に、誤ってカッパを下に落してしまうようなことがなく、これにより、子守者が傘をさした状態で乳幼児にカッパを着せる場合においても、カッパの装着を容易に行うことができる。

【0010】また、請求項3の発明では、乳幼児の腕および脚を覆う部分を開閉可能に構成したので、乳幼児の腕および脚に対するカッパの装着および取り外しを容易に行える。さらに、当該部分を乳幼児の腕および脚に止めるための係止部材を設けたので、乳幼児の腕および脚を確実に覆うことができるようになる。

【0011】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施態様を添付図面に基づいて説明する。図1ないし図9は本発明の一実施態様による乳幼児キャリア(ベビーキャリア)を説明するための図であり、図1はベビーキャリアの展開状態の表面図、図2はその裏面図、図3はベビーキャリアに収納されるカッパの展開状態の正面図、図4はベビーキ

キャリアの組立状態の正面図、図5はその側面図、図6ないし図8はベビーキャリアの使用状態の一例を示す図、図9は前記カッパの使用状態を示す図である。

【0012】図1および図2に示すように、ベビーキャリア1は、乳幼児の腹部、股部、背部をそれぞれ支持するための前當て部3、股當て部4、背當て部5を一体に連設して形成されたキャリア本体2を有している。

【0013】前當て部3の下部には、下方に延びる一対のショルダーベルト6、6'が設けられており、各ショルダーベルト6、6'の上部にはワンタッチバックル10、10'が、また下端にはベルト部材を介してワンタッチバックル12、12'が装着されている。股當て部4の下部には、ワンタッチバックル12、12'に着脱自在に係合し得るワンタッチバックル16、16'が各ベルト部材の先端に装着されている。

【0014】背當て部5の上部両端には、乳幼児の体側部を支持するためのサイドサポート25、25'が設けられており、各サイドサポート25、25'の上端には、ベルト部材を介してワンタッチバックル21、21'が取り付けられている。各ワンタッチバックル21、21'は、ショルダーベルト6、6'の各ワンタッチバックル10、10'に着脱自在に係合し得るようになっている。

【0015】各サイドサポート25、25'には係止ホック26、26'が取り付けられており、これら係止ホック26、26'は、前當て部3の両側部に取り付けた係止ホック27、27'に係脱自在に係合し得るようになっている。

【0016】背當て部5の上部には、乳幼児の頭部を後方から支持するためのヘッドサポート30が接着布または係止ホック等により着脱自在に設けられている。ヘッドサポート30の両側部32、32'には係止ホック33、33'が取り付けられており、これらの係止ホック33、33'は、ショルダーベルト6、6'の上部に取り付けられた係止ホック19、19'に係脱自在に係合し得るようになっている。

【0017】背當て部5の中央部には、小物入れ用のポケット40と、該ポケット40の上部開口を覆うフラップ41とが設けられている。ポケット40内には係止ホック42が取り付けられている。

【0018】ポケット40内には、図3に示すような、乳幼児を背面側から覆うためのカッパ50が収納されている。カッパ50は、上衣51とズボン52とを一体に連設して構成されている。上衣51の前面側（乳幼児の腹側）には矩形状の切欠き51aが形成されており、上衣51の背面には、ポケット40内の係止ホック42に係脱自在に係止する係止ホック43が取り付けられている。カッパ50がポケット40内に収納される際には、係止ホック43が係止ホック42に係止した状態で収納される。また、上衣51の上部にはフード53が一体に

形成されている。

【0019】上衣51の袖55、56にはそれぞれ切り込み55a、56aが形成されている。各袖55、56には、各切り込み55a、56aを挟んで係止ホック57、58および係止ホック59、60がそれぞれ取り付けられている。係止ホック57は係止ホック58に、また係止ホック59は係止ホック60にそれぞれ係脱自在に係合するようになっている。これにより、各袖55、56が開閉可能に構成されている。

【0020】同様に、ズボン52には切り込み52aが形成されており、該切り込み52aを挟んで係止ホック61、62および係止ホック63、64がそれぞれ取り付けられている。係止ホック61は係止ホック62に、係止ホック63は係止ホック64にそれぞれ係脱自在に係合するようになっている。これにより、ズボン52が開閉可能に構成されている。

【0021】次に、ベビーキャリア1の組立方法について簡単に説明する。この場合には、まず、ベビーキャリア1の表面側（図1）を子守者側に向けた状態で、ショルダーベルト6、6'を子守者の両肩に掛け、ショルダーベルト先端の各ワンタッチバックル12、12'をそれぞれ各ワンタッチバックル16、16'に係合させる（図1、図2一点鎖線参照）。

【0022】この状態から乳幼児を抱き、一方の腕で背當て部5を持ち上げて、背當て部5ごと乳幼児を抱き寄せ、次に、一方の手で、サイドサポート25'のワンタッチバックル21'をワンタッチバックル10'に装着する。同様にして、ワンタッチバックル21をワンタッチバックル10に装着する。

【0023】次に、左右のサイドサポート25、25'の各係止ホック26、26'を前當て部3の各係止ホック27、27'に係合させる。次に、ヘッドサポート両側部32、32'の各係止ホック33、33'をショルダーベルト上部の各係止ホック19、19'に係合させる。

【0024】このようにして、ベビーキャリア1が組み立てられ（図4および図5参照）、該ベビーキャリア1内に乳幼児が収容される（図6参照）。なお、ヘッドサポート30の両側部32、32'は、図7に示すように、該ヘッドサポート30に設けたポケット内にそれぞれ収納できるようにしてよい。また、乳幼児が成長して首がすわるようになれば、図8に示すようにヘッドサポート30を取り外すようにしてよい。

【0025】次に、図8に示す状態から、カッパ50を使用するには、まず、フラップ41を開けてポケット40内からカッパ50を取り出す。次に、フード53を乳幼児の頭部に被せるとともに、カッパ50の袖55、56を乳幼児の左右の腕に掛け、各係止ホック57、58および59、60を係止する。また、カッパ50のズボン52を乳幼児の脚に掛け、各係止ホック61、62お

50

より63, 64を係止する。

【0026】このようにして、図9に示すように、カッパ50を乳幼児に着せることができる。これにより、雨の日に外出しなければならない場合においても、乳幼児の手足が雨に濡れるのを防止できる。

【0027】しかも、この場合には、カッパ50の上衣51の背面部分が係止ホック43によりベビーキャリア1の背当て部5上に係止されているので、カッパ50をポケット40から取り出して乳幼児に着せている最中に、誤ってカッパ50を下に落としてしまうようなことがなく、これにより、子守者が傘をさした状態で乳幼児にカッパ50を着せる場合においても、カッパ50の装着を容易に行うことができる。

【0028】また、この場合には、カッパ50の袖5, 56およびズボン52を開閉可能に構成したので、乳幼児の腕および脚に対するカッパ50の装着および取り外しを容易に行える。さらに、袖55, 56およびズボン52の各開閉箇所にそれぞれ係止ホックを設けたので、各係止ホックを係止することにより、乳幼児の腕および脚を確実に覆うことができるようになる。

【0029】なお、前記実施例では、背当て部5に設けたポケット40内にカッパ50を収納した例を示したが、ヘッドサポート30にポケットを設け、該ポケット内にカッパを収納するようにしてもよい。

【0030】また、前記実施例では、カッパ50の袖5, 56およびズボン52を係止ホックにより開閉するようにしたものを示したが、本発明の適用はこれに限定されず、係止ホックのかわりにファスナーまたは接着布を用いるようにしてもよい。

【0031】

【発明の効果】以上のように本発明に係る乳幼児キャリアによれば、乳幼児を背面側から覆うカッパを背当て部

のポケット内に収納したので、雨の日でも乳幼児の手足が雨に濡れるのを防止でき、しかも、カッパの装着を容易に行うことができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施態様によるベビーキャリアの展開状態の表面図。

【図2】前記展開状態のベビーキャリアの裏面図。

【図3】ベビーキャリアに収納されるカッパの正面図。

【図4】ベビーキャリアの組立状態の正面図。

【図5】前記組立状態のベビーキャリアの側面図。

【図6】ベビーキャリアの使用状態の一例を示す図。

【図7】ベビーキャリアの使用状態の一例を示す図。

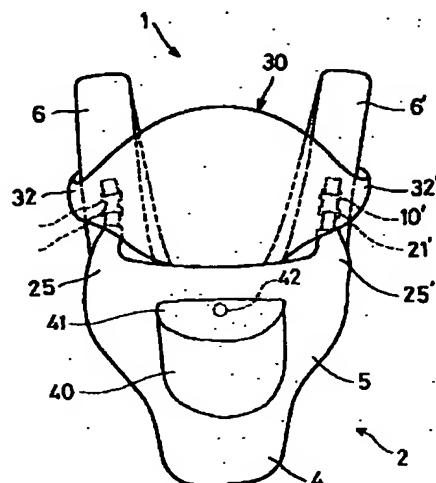
【図8】ベビーキャリアの使用状態の一例を示す図。

【図9】前記カッパの使用状態を示す図。

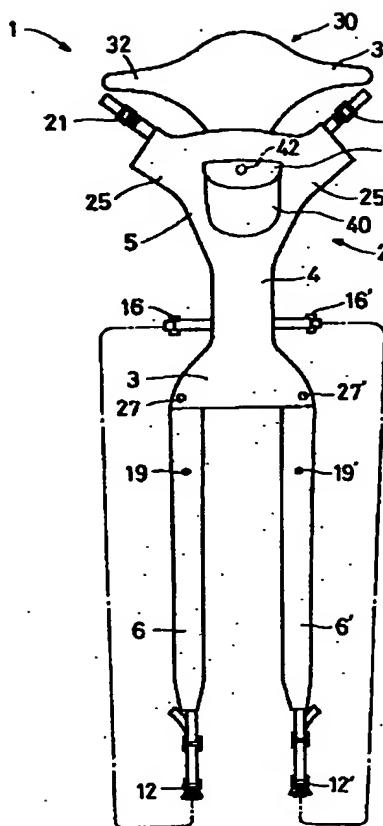
【符号の説明】

1	ベビーキャリア(乳幼児キャリア)
2	キャリア本体
3	前当て部
4	股当て部
5	背当て部
20	ヘッドサポート
30	ポケット
40	係止ホック
42	カッパ
5	係止ホック
50	ズボン
43	切り込み
52	係止ホック
52a	袖
61, 62, 63, 64	切り込み
30	係止ホック
55, 56	袖
55a, 56a	切り込み
57, 58, 59, 60	係止ホック

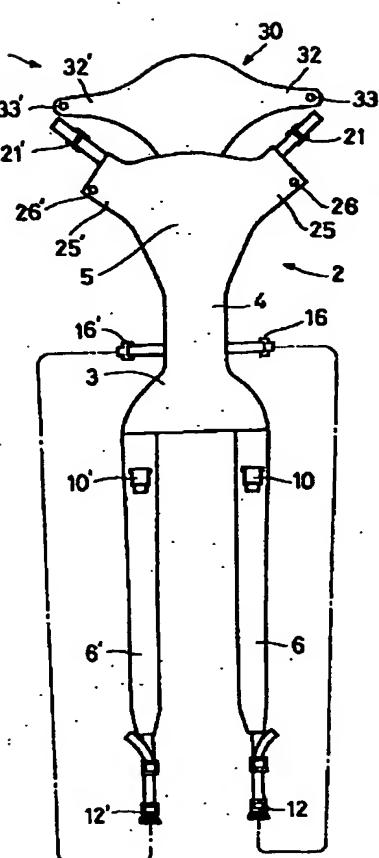
【図4】



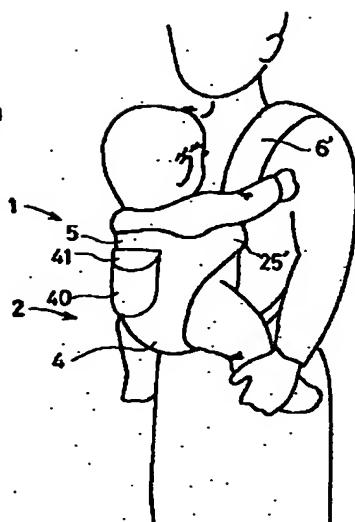
【図1】



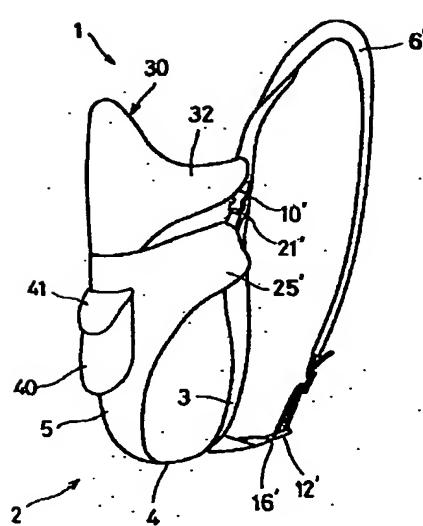
【図2】



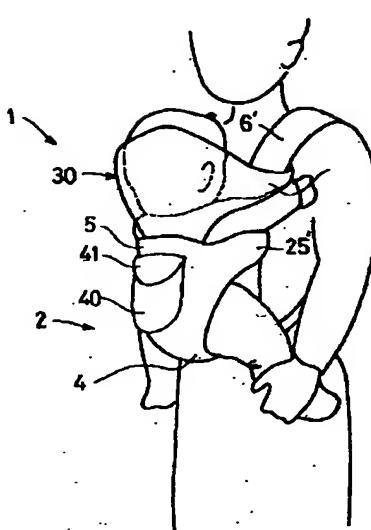
【図8】



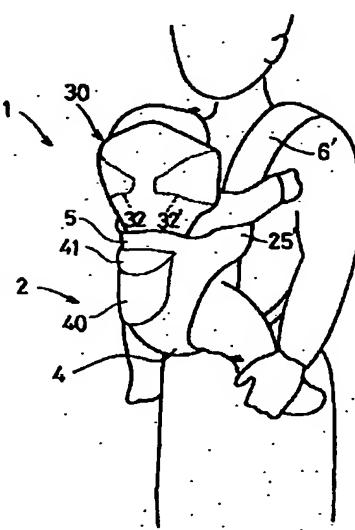
【図5】



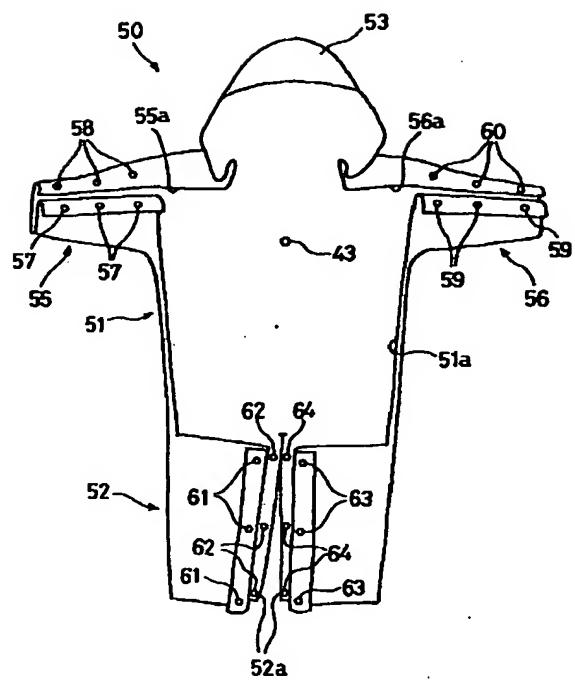
【図6】



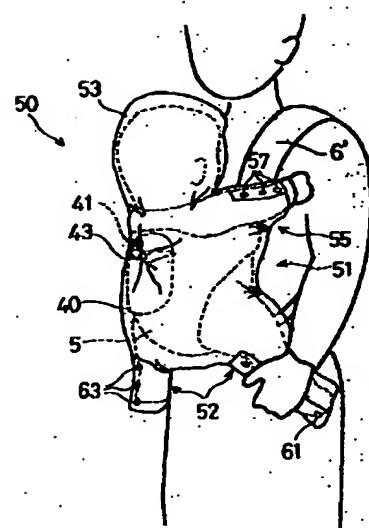
【図7】



【図3】



【図9】



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 09-094136

(43) Date of publication of application : 08.04.1997

(51) Int.Cl. A47D 13/02

(21) Application number : 07-276396 (71) Applicant : APRICA KASSAI INC

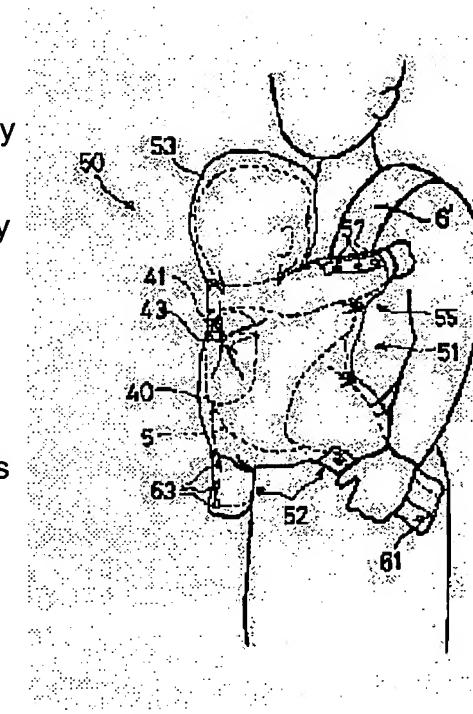
(22) Date of filing : 29.09.1995 (72) Inventor : KATAOKA SACHIYO

(54) BABY CARRIER

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent wetting of hands and feet of a baby with rain in going out on a rainy day.

SOLUTION: In a baby carrier having a carrier main body comprising a front part, a thigh part, and a back part 5 integrally formed with each other, a pocket 40 is provided on the back part 5, a rain coat 50 to cover the baby from the back side is contained in the pocket 40, and a back part of an upper part 51 of the rain coat 50 is hooked inside the pocket 40 by a hook 43.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 30.07.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 13.01.2004

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]